

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 8月27日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|--------------------------------------|-------|-------------|
| 事業所番号 | 0875200057 | | |
| 法人名 | 医療法人社団 公慈会 | | |
| 事業所名 | グループホーム オレンジ庵 | | |
| 所在地 | 茨城県神栖市堀割2-26-31 (電話) 0299-90-0711 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 認知症ケア研究所 | | |
| 所在地 | 茨城県取手市井野台4-9-3 D101 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年7月27日 | 評価確定日 | 平成20年11月25日 |

【情報提供票より】(平成 年 月 日事業所記入)

(1)組織概要

| | | | |
|-------|------------------|----------------------|------|
| 開設年月日 | 平成 17 年 10 月 1 日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 20 人 | 常勤 13人, 非常勤 7人, 常勤換算 | 16人 |

(2)建物概要

| | | | |
|------|--------|-------|-------|
| 建物構造 | 鉄骨 造り | | |
| | 2 階建ての | 1 階 ~ | 2 階部分 |

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|--------------------|----------------|----------|-------|
| 家賃(平均月額) | 48,000 円 | その他の経費(月額) | 24,000 円 | |
| 敷金 | 有(円) 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(110,000 円) 無 | 有りの場合 償却の有無 | 有/無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 300 円 | 昼食 | 500 円 |
| | 夕食 | 500 円 | おやつ | 100 円 |
| | または1日当たり 円 | | | |

(4)利用者の概要(月 日現在)

| | | | | | |
|-------|---------|---------|---------|----|-----|
| 利用者人数 | 18 名 | 男性 | 9 名 | 女性 | 9 名 |
| 要介護1 | 4 名 | 要介護2 | 2 名 | | |
| 要介護3 | 5 名 | 要介護4 | 6 名 | | |
| 要介護5 | 0 名 | 要支援2 | 1 名 | | |
| 年齢 | 平均 83 歳 | 最低 72 歳 | 最高 95 歳 | | |

(5)協力医療機関

| | |
|---------|--|
| 協力医療機関名 | 白十字病院・神栖済生会・とみかみクリニック・PCデンタルクリニック・福田内科 |
|---------|--|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅地の一角にあり地域とのコミュニケーションを密にし、利用者の外へのアプローチを多くした。木を基調とした明るく暖かな雰囲気が印象的なホームである。庭には菜園のスペースが設置され畑仕事が利用者の役割の一つとなっている。各居室には、利用者馴染みの物品や趣味の品などが家族や職員の協力を経て設置され個々の利用者のその人らしさが感じられる居室となっている。

【重点項目への取り組み状況】

| | | |
|-------|--|---|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) | 食事提供への取り組みについて、職員は見守りのなか利用者とともに昼食をとり家族的な雰囲気のなか楽しく食事をとってもらう事に着眼し取り組んだ。現在は、全員が一緒に食事をする時間とはなっていないが、今後は職員が昼食時に一緒に食事を取れるよう配慮し、さらに家族的な雰囲気が出るよう配慮していく計画となっている。 |
| | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) | 職員にも自己評価項目に目を通してもらうことで、外部評価の意味や意義を理解し、積極的に関わられるよう配慮した。今後はさらに職員が外部評価に濃密に関わるように工夫していきたい。 |
| 重点項目② | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) | 現在運営推進会議が開催されていないが、今後9月に開催する予定がある。 |
| | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) | 家族は、面会時や意見箱の設置により家族からの意見を聞き入れ、職員との会議を持ってサービスの向上に努めている。 |
| 重点項目③ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) | ホーム内のイベントなどの時に、地域にチラシを配布し高齢者や、家族にも来ていただけるように配慮している。また地域への外出を多く持ち、近隣とのコミュニケーションも多く持つよう努力している。 |
| | 重点項目④ | |

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 環境・心身・栄養・安全・地域、これらを個別にホーム独自の理念として掲げ、その内容について日頃から職員に話し、啓発を促している。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念をミーティングや申し送り時に職員に管理者から問いかけるように話している。またケアの提供時等にその具体的な取り組みについて、管理者から職員に話している。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | イベントなどホームで行われる行事について、近隣の住民が参加できる物を選び、地域へチラシを配布するなどし、近隣との関わりを密にしている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 職員にも自己評価項目を渡し一緒に考えるように取り組んだ。職員へは、管理者から外部評価の内容を説明し啓発している。今後は、さらに職員が深く関わられるように工夫していきたいと考えている。 | | |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議が、今のところ開催されていない。 | ○ | 今年9月に運営推進会議が開催される予定がある。 |

茨城県 グループホームオレンジ庵

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| 6 | 9 | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>連絡をとり、ホームからアプローチをするようにしている。今後は運営推進会議を開催する観点からも行政との連携を密にしていく予定となっている。</p> | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p> | <p>家族へは、写真を貼り付けたはがきなどで近況の報告を定期的に行うほか、面会時などにも職員から家族に積極的に近況報告を行うようにしている。</p> | | |
| 8 | 15 | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>面会時に直接家族に聴取することにより、家族の要望を聞き入れられるように工夫している。</p> | | |
| 9 | 18 | <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>1階と2階のフロアーをすべての職員で把握するよう、フリーシフトを作り、全体的な把握を心がけている。利用者の混乱が現在多少見られるが、緊急時の対応がスムーズになるよう工夫されている。</p> | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>職員は、外部研修に自ら参加し外部研修には、出勤扱いで交通費も支給されるなど、職員を育てる取り組みにおいて非常に努力されていると感じた。また必ず報告会を開催し、知識共有を図っている。</p> | | |
| 11 | 20 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>現在のところ管理者レベルの交流となっているが、今後は職員間でも交流出来るよう配慮していきたいと考えている。</p> | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|---|------|---|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 体験宿泊など比較的安価で可能になっているほか、隣接するデイサービスを利用し、環境に慣れた時点で入所できるよう配慮している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 利用者の生活歴や、技などを家族や本人から聴取し、役割を持っていただくようにしたり、利用者質問にも支え合う配慮をしている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用者の意向や希望を聴取し、その内容を職員間で話し合い極力その人の希望を実現できるよう配慮している。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 介護作成担当者が代わり、情報も少ないなか計画を作成しケアを提供している。 | ○ | 今後は、計画作成に当たり職員からの意見の聴取もこまめに取り入れ、利用者個々のその人らしい介護計画の作成に配慮されたい。 |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護計画の流れに沿って、期間を設け見直しが行われておりその内容も家族に知らされている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|---|------|--|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | アニマルセラピーや、家族の宿泊なども可能になっている。またホーム内での入浴が困難な利用者に当たっては、隣接のデイサービスの浴室を利用するなどし利用者に負担がかからないように配慮している。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 利用者の希望によりかかりつけ医が選択でき、受診の際は、職員付き添いの下受診出来るようになっている。その送迎に関しては、現在無料となっており家族の負担などにも配慮されている。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 現在終末期を迎える利用者があり、医療依存の程度により今後のケアを検討している。 | ○ | 重度化に伴い、家族の意見を再確認するなどし書面でのやりとりについて配慮が必要と思われる。今後取り組んでいただきたい。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | プライバシー保護や、言葉使いなど利用者をお客様とし、管理者をはじめ職員も、ケアをさせていただいているという姿勢で接するよう全体で心がけている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者個人のペースに配慮し朝食など、好きな時間に食べることが出来るよう配慮している。利用者の好みの時間で起床し朝食が取れるよう配慮している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|---|------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 以前の外部評価の取り組み項目にて、職員が昼食を利用者とともに食べることが出来るよう、配慮している。現在では職員全員が入れるようにはなっていないが、今後は職員もはより全体で楽しい雰囲気の中食事が取れるよう配慮していく予定がある。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 利用者の希望に合わせて入浴が可能になっている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 菜園や裁縫など利用者の生活歴に応じた、利用者の役割が設置され、その内容がその日の取り組みとしてホワイトボードに記載され利用者もどこに取り組むかわかりやすいように工夫されている。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 日常的に外出があり、散歩については一日に二回の実施が行われている。また近隣に専門店が多く利用者の希望によりいろいろな外出が提供されている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 近くに幹線道路があり、安全の目的もあり各ユニットの入り口に施錠がある。 | | 居室の窓や、非常階段など安全を配慮した上で、施錠の解除に取り組んでいただきたい。 |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年二回の防災・避難訓練が利用者を交えて行われている。 | ○ | 今後は、大規模災害に備えた、備蓄品の確保について検討されたい。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 日々の記録の中に利用者個人個人の摂取状況やその日の体調が記入され、利用者のその日の状況が把握しやすいように工夫されている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用空間には、時間やその日、季節を感じさせる物品が置かれ明るく居心地のよい空間となっている。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室には、その人らしい物品がほどよく設置されており、馴染みの空間となっている。 | | |